

京都大学瀬戸塩海実験所振興会

水族館月報

NO 128

1963. 4月 (5月5日)

録 事

4月1日 さきに退職した稲垣弘技術員の後任としては、技術員の新採用が難しいので、昨年4月採用の森山惣一事務見習を技術見習としてこれにあて、新たに谷坂美和子を事務見習として採用。なお前年6月退職の小芝満子事務員の後任として赤松里美を事務見習として採用。両名共本日より出勤。

4月8日 3月20日付にて契約をむすんだ、白楽急行バス株式会社の定期観光バスは、本日より運行を開始し、当館の入館も行なわれた。

4月25日 恒例の職員春の行楽は、本年は新和可漕方面へのピクニックと決定。1班は25日、2班は26日に実施した。両日とも行楽日和に恵まれて、楽しい一日を過ごした。

4月29日 平やすと事務員は大阪市役所職員組合白楽寮に就職のため、本月30日限りで退職を願出。本日午後5時30分より寄宿舎において送別の小宴を催す。

業 務 概 況

◎ 4月の入場者数

□ 水族館窓口発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
個 人	12096	429	1649	14174
団 体	22420	320	1351	24091
小 計	34516	749	3000	38265

○ 交通業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
明 光 バス	60549	0	1400	61949
白浜急行バス	5319	0	21	5340
小 計	65868	0	1421	67289

○ 旅行斡旋業者委託発売

区 分	大 人	中 人	小 人	小 計
日本文通公社	2595	0	21	2616
近畿日本バス	1704	0	11	1715
日本 旅行会	160	0	0	160
南海 交通社	225	0	0	225
日本通運KK	120	0	0	120
小 計	4808	0	32	4836

合 計	105188	749	4453	110390
-----	--------	-----	------	--------

無 料	白浜才-小学校児童			120
-----	-----------	--	--	-----

◎ 4月の事業収入

観光券売上金	2,553,060
窓 口 発 売	1,010,982
明光バス観光券	1,422,061※
白根急行バス観光券	—
日本交通公社クーポン	67,943
近鉄日本ツーリストクーポン	44,754
日本旅行会クーポン	4,080
南海交通社クーポン	—
日本通運KKクーポン	3,240
給はがき売上金	45,660
予 金 利 子	720
手 数 料	45,990
パンフレット松下	—
研究業績松下	—
魚 類 松 下	900
雑 收 入	1,814
諸施設改善積立金より繰入	—
合 計	2,648,144
※ 明光バス観光券未収分	@30 36005枚 @27 26951枚
	@10 1774枚 @ 9 388枚

◎ 4月の支出

本部経費

費 目	金 額	備 考
人 件 費	33448	
旅 費	—	
会 議 費	—	
事 務 費	1600	
福祉厚生費	23910	
社会保険料	—	
積 立 金	—	
合 計	58958	

水族館経費

箇 目	金 額	備 考
人件費	29,554.7	
極 費	1,030	
草 業 費	153,468	
営 繕 費	21,139	
公課及保険料	30,238	
諸 経 費	117,154	
合 計	618,576	

実験所経費

費 目	金 額	備 考
旅 費		
研 究 費		
助 成 金	10,000	
刊 行 費		
役 務 費		
合 計	10,000	

支出合計

本部経費	58,958
水族館経費	618,576
実験所経費	10,000
處 時 費	—
合 計	687,534

◎ 4月末現在高

前月よりの繰越	—
今月の収入合計	2,648,144
今月の支出合計	687,534
現 在 高	1,960,610

◎ 前年度との比較

	1963	1962	増 減
入 場 者 数	110,390	91,336	+ 19,054

水族館記 事

- ◎ 2日 堺浦リツノザメ(全長120cm)10体が入槽、H水槽で展示していたが26日に死亡。
- ◎ 2日 H水槽のハマチに寄生していた吸虫 Benedenia sekiroae は、コブダイ にも感染したののでネグボン-硫酸銅浴を実施、6日駆除成功を確認した。この吸虫は、コブダイ、タカノハダイなどに寄生するコペポーダ Caligus sp.よりも薬品に対する抵抗力が強く、駆除に数日要する。(Caligusは12時間以内)
- ◎ 5日 I水槽のガラス入れ替え作業完成。水槽の両口は左右20cmずつ狭くなったが、中央の才立が広がったため、以前よりすっと見やすくなった。
- ◎ 11日 H水槽のハマチ300体は、吸虫は駆除できたが、体表のすり傷が見苦しく、また、他の魚病を誘発するおそれもあるので、おこ下げ処分し、代りに近大養魚場より新しく400体を補充した。
- ◎ 14日 大阪エンゼル熱帯魚店より、コバルトリラスメ50体が入槽。昨年入ったものより大きく(全長5~6cm)見たえがある。先月入槽のカクレマノミ、テッポウウオ、ヒメツバノウオなどと共に、何れも元気で、新館卓上水槽をにぎわしている。
- ◎ 20日 A水槽のミギマキ、B水槽のイトウ、イシガキダイに、早くも白癩病が発生(水温18.5℃)し、ネグボン-硫酸銅処方治療中。月末までのところまだ、本病による死亡魚はでない。
- ◎ 21日 11日入槽のハマチは養魚生簀の中ですでに吸虫が寄生していたらしく、その症状が現れ始めたので、前回同様処置し、駆除できたが、白癩病の予防をおねて、以後5日ごとに薬液投入を続けている。
- ◎ 21日 元総電機室に1HP 低圧コンプレッサーを設置し、運転開始。これで、ホ1・2水槽室、熱帯淡水魚槽(標本展示室)へ給気ができるようになった。
- ◎ 24日 堺浦および雑貨崎1本釣漁師よりトビエイ40体が入ったが、生簀内での損傷の悪化し、いずれも数日で死亡。
- ◎ タカアシガニの収容数は、月末現在、R1水槽90体、R2水槽90体。循環冷水のにごりが多いため、夜間のみ冷水循環し、南館時間中は内式フィルターによる濾過だけ展示している。この向の水温上昇は1°C以下である。

② 4月の採集収量

日時	採集場所	方法	人数	主な目的
11日午後	南浜所波堤附近	磯採集	1	ウミウシ類、トコブシ
12日 "	塔島へ 灯台下	"	2	トゲトサカ類
14日 "	動物園下の葎	"	2	ヒトデ類、ウミウシ類
20日午前	"	"	1	カメノテ、イソスジエビ
28日午後	南浜所波堤附近	"	1	ケヤリムシ
29日 "	塔島周辺	"	2	ウミウシ類、ウミシダ

◎ 主な採集水族名 (※印は 37年4月1日以降始めての入槽動物)

無脊椎動物：オオトゲトサカ ケヤリムシ カメノテ イソスジエビ サラサエビ
ミヤコウミウシ クロシタナシウミウシ キヌハダウミウシ ※イバラウミ
ウシ ※ダイダイウミウシ ミスガイ トコブシ ※ベニシボリ サワラビ
 ※トゲクモヒトデ コシダカウニ サンショウウニ マナコ ※ミカンボヤ

◎ 主な購入水族名

無脊椎動物：オニヤドカリ ヒロバウチワエビ コブセミエビ ゾウリエビ
カノコイセエビ ケアシガニ エダツノガニ タカアシガニ エンコウガニ
トラフクラツバ ※オオナルトボラ

魚 類：ナヌカザナ ホシザナ ※ツノザナ カスザナ トビエイ クロアヒ
ゴ イトウタイ アカマツカサ ブリ オキナヒナジ マハタ イヤゴハ
ク コバルトソラスズナ イラ ササノハベラ シマフグ トラフグ
 ※モヨウフグ ニセフサカサゴ ※ハチ イシガレイ アコウ

◎ 4月30日現在、飼育中の動物は、総計299種、3850個体以上でその内訳は、次の通り。このうち観覧水槽に収容展示中の動物は295種、3650個体以上。

ヒドロ虫類	2種	フジツボカサテ類	4種	タコ類	1種
ウミトサカ類	2種	エビ類	16種	ウミシダ類	2種
ヤギ類	7種	ヤドカリ類	5種	ヒトデ類	7種
ウミエラ類	1種	カニ類	23種	クモヒトデ類	5種
イソギンチャク類	9種	アメフラシ類	15種	ウニ類	10種
イシサンゴ類	3種	二枚貝類	9種	ナマコ類	6種
ハナギンチャク類	1種	巻貝類	22種	ホヤ類	6種

多毛類 4種 ヒザラガイ類 1種 軟骨魚類 12種
 カブトガニ類 1種 イカ類 1種 硬骨魚類 121種
 カメ類 3種

資 料

⑤ 4月の気象(09時観測)
 和1水槽室(水温・比重は前24水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数:14	7	4	3
空 温 (°C)	$\frac{12.9 \sim 18.0}{15.2}$	$\frac{12.8 \sim 20.1}{17.1}$	$\frac{15.8 \sim 18.7}{17.4}$
水 温 (°C)	$\frac{14.22 \sim 17.42}{15.59}$	$\frac{14.44 \sim 19.00}{16.80}$	$\frac{17.02 \sim 18.00}{17.53}$
比 重 (°15)	$\frac{24.69 \sim 25.76}{25.08}$	$\frac{23.67 \sim 27.50}{24.57}$	$\frac{24.04 \sim 25.66}{24.68}$

新 飼 (水 温)

H 水槽(°C)	$\frac{14.6 \sim 16.2}{15.5}$	$\frac{15.2 \sim 19.2}{17.1}$	$\frac{16.9 \sim 17.7}{17.3}$
T ₈ 水槽(°C)	$\frac{14.6 \sim 18.2}{15.9}$	$\frac{14.8 \sim 19.6}{17.2}$	$\frac{17.4 \sim 19.0}{18.0}$

取 入 口

水 温 (°C)	$\frac{14.40 \sim 17.28}{15.81}$	$\frac{15.00 \sim 19.04}{17.06}$	$\frac{16.82 \sim 19.20}{17.86}$
比 重	$\frac{24.58 \sim 25.72}{25.12}$	$\frac{23.50 \sim 25.36}{24.51}$	$\frac{23.90 \sim 25.12}{24.72}$

来 訪 録

- 4月1日 北海道大学事務管理課及川敬一主計課長御往・同広田村三文部事務官様、
当館の経理等について調査研究のため来館。
4月16日 近畿日本ソールスト(KK)富田俊一経理部次長・同津島茂手配課長御往、
更改のため来館。

昭和38年5月5日 (NO.128)

納票兼
発行者 宮地 伝 三 郎

発行所 瀬戸臨海実験所振興会
和可山際白浜町
瀬戸臨海実験所内
(Tel. 白浜温泉 515)